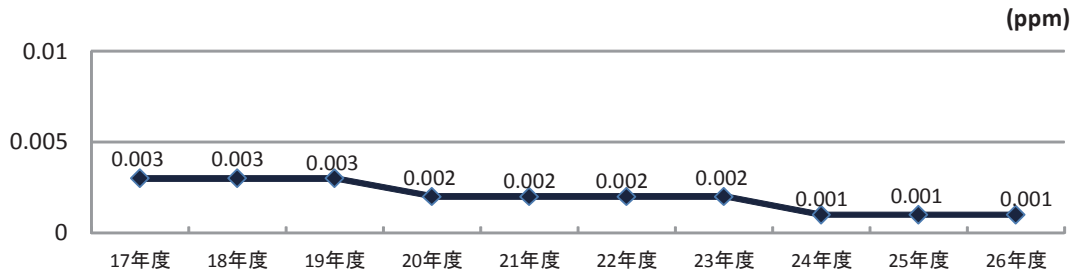


第2節 大気環境の保全、騒音、振動、悪臭の防止

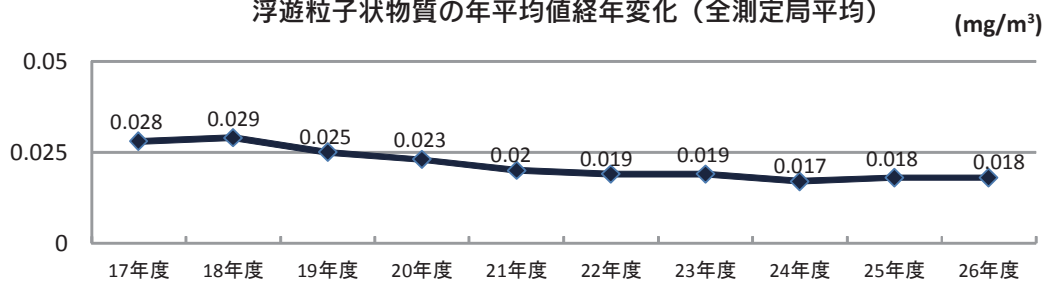
■ 現状と課題

- 本県の大気環境の状況は、二酸化硫黄*1、二酸化窒素*2、浮遊粒子状物質*3については、環境基準を達成していますが、光化学オキシダント*4については、例年、環境基準を達成していません。また、微小粒子状物質(PM2.5)*5は、10観測地点中6地点で環境基準を達成しています。
- 騒音・振動規制基準達成状況(特定工場)や自動車騒音については、緩やかに改善されてきていますが、自動車保有台数が多い本県では、引き続き自動車騒音対策が必要です。
- 悪臭に関する苦情は、物質濃度規制では解決できない事例や、規制地域外での事例が多い状況です。このため、本県では県内全市町村で臭気指数による規制を行うことを基本方針に、市町村と調整を行っています。
- 市街化・混住化の進展、家畜飼養規模の拡大等に伴い、畜産経営に起因する環境問題が発生しています。特に、悪臭関連の公害苦情件数は6割以上を占めており、畜産業の健全な発展のためには悪臭防止対策が重要な課題となっています。

二酸化硫黄の年平均値経年変化（全測定局平均）

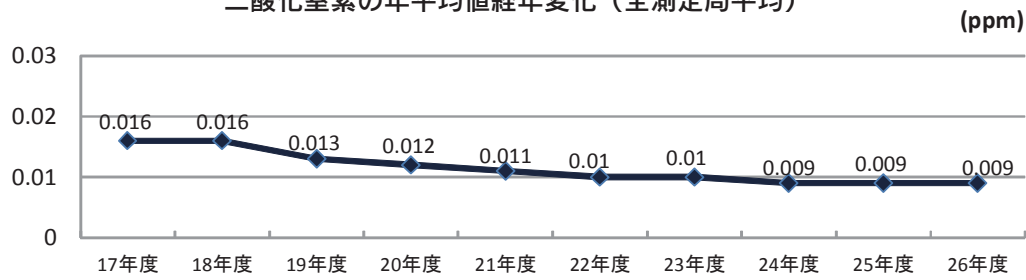


浮遊粒子状物質の年平均値経年変化（全測定局平均）

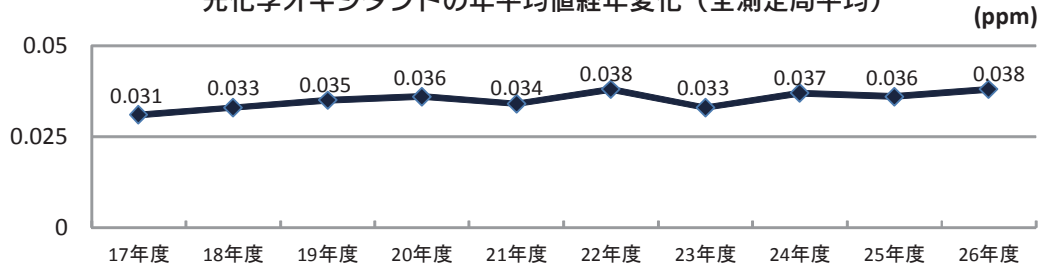


(資料:環境保全課)

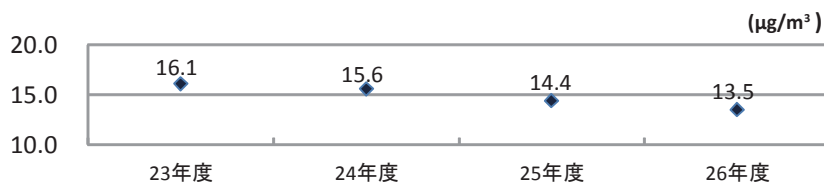
二酸化窒素の年平均値経年変化（全測定局平均）



光化学オキシダントの年平均値経年変化（全測定局平均）



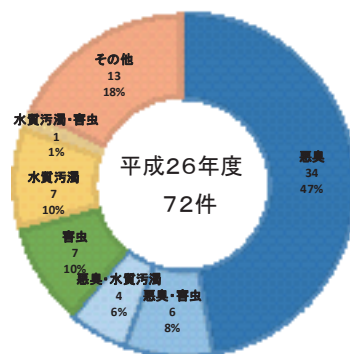
微小粒子状物質の年平均値経年変化（全測定局平均）



(資料:環境保全課)

※23、24年度は前橋局の年平均値、25年度は前橋・太田・沼田局の各年平均値の平均値、26年度は前橋・太田・沼田・館林・桐生・吾妻・嬭恋局(全局)の各年平均値の平均値です。

畜産経営に起因する苦情発生状況



(資料:畜産課)